

当院口腔外科で顎矯正手術（あごの骨に対する咬み合せの手術）を
受けられた患者様および歯並びに対する矯正歯科治療のためのCT検査
を受けられた患者様へ

1. 現在、当院では「下顎枝矢状分割術時の骨切りからみた下顎枝外科解剖に関する比較研究」という研究を行っています。この研究は、より安全で確実な治療を行うために、手術前に撮影したCT画像やレントゲン写真を用いて、下顎骨の形態を調べるものです。

以下の内容をご確認ください。

2. 調査の対象となるのは、平成19年4月1日から平成25年3月31日までの期間に、当院口腔外科において、①骨格性下顎前突症または骨格性下顎後退症と診断され、CT検査と顎矯正手術（あごの骨に対する咬み合せの手術）を受けられた患者様、②歯並びに対する矯正歯科治療のためのCT検査を受けられた患者様です。

3. 性別、年齢、診断名、レントゲン写真、CT画像を用いて、調査担当歯科医師が対象となる患者様の症例調査票を作成します。

4. 症例調査票には、住所・氏名などの患者様の個人が特定される情報が記入されることはありません。

5. 本研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報は公表されることはなく、個人情報を守られます。

6. 本研究は東京歯科大学倫理委員会の承認を受け実施しています。

7. 本研究について質問あるいは疑問がある時は、いつでも下記担当医、あるいは問い合わせ窓口にご連絡ください。

担当医 柴原孝彦 (教授)
須賀賢一郎 (講師)

問い合わせ窓口 東京歯科大学千葉病院口腔外科
電話 043-270-3901